

外国語に親しむ

MIFAでは語学研修委員会を通してさまざまな外国語に親しむ活動に取り組んでいます。どの講座の参加者も語学を通じて交流することの楽しさを実感しています。

英語でおしゃべり 毎月第1土曜日 午前10時～正午

“英語でおしゃべり”は、月一回ログハウスに集まり、その時々テーマについて英語でおしゃべりを楽しんでいます。守谷市のみならず近隣の市からも年齢や国籍、英語のレベルを問わず多くの方が参加。ネイティブスピーカーや日本人の参加者による英語のショー

トスピーチを聞くことで、聞き取りの力も付いています。また、5月と10月はランチ後にゲームや歌を通して楽しく交流しました。



テーブルに分かれて本日のトピックについておしゃべり



初心者の方にはビギナーズテーブルも用意しています



5月と10月はテラスでランチセッション



日本語は厳禁! 熱心に英語でおしゃべりを

中国語講座 毎週日曜日 午前10時～正午

“中国語講座”は北京で外国人への中国語教育に携わってきたプロの講師でMIFA会員でもある曹さんをお願いして2017年1月より毎週1回開講。プロの

講義で皆さんめきめき上達することができました。講師からは中国語と同時に中国の歴史や文化も教えてもらえるのも受講者に好評でした。



ドイツ語を楽しもうかい 毎月第4水曜日 午後2時半～4時半

ドイツ語講座は、2018年12月に語学研修委員会に加入し、月に一度の勉強会を開催しています。毎月、交代でドイツ語の資料を準備し、それに基づき互いに検

討しました。ドイツ語圏の文化風習も学び、姉妹都市マインブルクとの交流に貢献することを目指しています。



姉妹都市マインブルク市から来市していた市民も特別参加
守谷市民活動支援センター 2018.12.19



国際交流員のドイツ人ルイーザ・ハップさんも参加
ログハウス 2019.2.27

外国人のための日本語講座

毎週水曜日 午後7時半～9時
毎週金曜日 午後2時～3時半

日本語講座委員会が、在住外国人のための日本語講座をボランティアで実施。当初は水曜夜間講座のみでしたが、現在は金曜昼間講座も開設し、学習者の生活サイクルで選べるようにしています。

学習者は中国、台湾、アメリカ、ベトナム、インドネシア、フィリピン、タイ、イタリア、ブラジルなど多国籍。講師とともに真剣に、楽しく日本語を勉強しています。講座は年間3回開講、2018年度末で第72回を迎えました。



1コース10回、10回目にはショートスピーチと茶話会をしています。



10回中8回以上参加した学習者に修了証をお渡ししています。

日本文化体験講座

毎月第4月曜日 午後6時半～8時

在住外国人のための、日本文化を体験してもらう講座。着物を着ての立ち居振る舞いや、ふすまの開閉、懐紙の使い方など、内容は多岐にわたります。百人一首や花札など、日本に古くから伝わる遊びも。

この講座で学んだ着物の着付けや箏の演奏を、MIFAの他のイベントで披露しました。2018年度末で第78回を迎えました。



ログハウスの和室にて着物での立ち居振る舞いを体験



ログハウスのホールにて箏の演奏

ホームステイ・ホームビジットプログラム

MIFAはこれまで、多くのホームステイを受け入れて来ました。JICA筑波の研修員や姉妹都市からの訪問団、筑波大学留学生、東アジア青少年大交流計画における、ラオス・インド・中国・タイからの青少年の受け

入れを行っています。2018年には、新しくホームビジットプログラムを実施。日帰りでホストファミリーと交流するもので、ホスト側も受け入れやすく、より多くの留学生を受け入れられるようになりました。



ホストファミリー宅で日本の料理を体験する筑波大学の学生



ホームビジットで昼食をとりながらの交流



ドイツ マインブルク市からキリアンさんが来市。ポウリングで青年交流会を開催 2015.5.24



MIFA設立30周年記念事業として、ラオスから青少年を招聘 2018.7.25



筑波大学の留学生11人を招きホームビジットを実施。ホストファミリーとともに一日を過ごしました 2018.7.25

ホームステイ・プログラム受け入れ(2009-2018年度)

2009(平成21) 7.25	JICAつくば研修員
2010(平成22) 1. 9	筑波大学留学生
2010(平成22) 6.25	インド青少年
2012(平成24) 1.14	筑波大留学生
2013(平成25) 1.19	筑波大留学生
2015(平成27) 1.17	筑波大留学生
2015(平成27) 5.24	マインブルク青年
2015(平成27) 8.22	筑波大留学生
2016(平成28) 3.29	マインブルク青年
2018(平成30) 5.25	ノーザンコロラド大学生
2018(平成30) 7.25	ラオス青少年

国際理解ワーキング・グループ

国際理解ワーキング・グループは、世界文化の多様性を理解し、環境破壊や世界各地に見られる貧困や南北格差の現状を知り、世界のつながりの構造を理解して、自身との深いかかわりに気付くために定期的に勉強会や講演会を実施しています。

アフリカでコーヒー生産者を支援するNGOの活動報告 「美味しいコーヒーの一杯でアフリカ農民支援」

講師 NPO法人 ハーベストタイム 2010(平成22) 3.13

アフリカ農民支援に取り組んだことから、フェアトレードの仕組みを学習。その後、用意してくれたコーヒーをいただきながら歓談しました。



ボルネオの熱帯雨林と日本の便利な生活のつながり 「生物多様性と環境保全について」

講師 坪内 俊憲 星槎大学准教授 2012(平成24) 3.25

ボルネオでは熱帯雨林の伐採、アブラヤシ大規模農園の乱開発などで失われつつある野生動物のすみかなどの変化は日本の便利な生活と関わりがあるという講演でした。



ブータンはなぜ、輝いているのか 2012(平成24) 9.15

講師 白井 一 日本ブータン友好協会幹事
ブータン国王・王妃歓迎レセプション公認記録カメラマン

GNH(国民総幸福量)から本当の幸せとは何なのかという問いをブータンを基に考えるワークショップとなりました。



神秘的なインド・カシミールの輝きと現実

講師 ヒラル・パライク 2014(平成26)11.15

カシミールの歴史や場所、季節や料理などの文化から経済まで幅広い情報を講演して頂きました。日本滞在8年の講師の流暢な日本語にも感心した講演となりました。



ブルキナファソ: a multi culture country 2015(平成27) 2.21

講師 バリー・キスウィンドゥシダ・サイドゥ

バリーさんは、西アフリカの国「ブルキナファソ」から筑波大学の留学生として日本にやってきました。地理・歴史・文化・教育・経済・生活など具体例を挙げながら、ブルキナファソの今を紹介していただきました。



放課後子ども教室

国際理解ワーキング・グループで得た知識を守谷市内の小学生に伝える活動をしています。子供たちに国際交流(外国の人たちを理解し、仲良くすること)の大切さ、面白さを理解してもらうことを目指しています。



世界には様々な理由で、学校へ行けない子どもたちがいることを伝えました。また、学校の設備が不足している地域もあることなどを話し、学校の楽しさや勉強の意義を一緒に考えます。この日は、薪運び、お金を稼ぐ靴磨き、ゴミの中から換金できる金属探しや、新興国の学校の授業を体験してもらいました。



世界の国の中から8か国を選び、その民族衣装を紹介しました。実際に民族衣装を着てもらい、各国の言葉で「ありがとう」という挨拶をして、生活や文化の違いを伝えました。クイズを通して、国旗シールを集め、地図に貼り付けることで、各地の場所を知ってもらい、国際交流の面白さと重要性、楽しさを伝えました。

守谷市内の小学校「放課後子ども教室」での活動

2009.11.16	松ヶ丘小学校	2013. 1 .28	黒内小学校	2016. 1 .25	大井沢小学校
2010.10.18	高野小学校	2013. 2 .25	大井沢小学校	2016. 2 .15	大井沢小学校
2011. 2 . 7	郷州小学校	2013. 5 .13	大野小学校	2016.10. 3	大野小学校
2011. 5 .30	守谷小学校	2014.12. 8	郷洲小学校	2016.12. 5	松ヶ丘小学校
2011. 7 .11	黒内小学校	2014. 1 .27	守谷小学校	2017. 2 .13	黒内小学校
2011.10. 3	大井沢小学校	2015. 1 .26	高野小学校	2017. 6 .12	高野小学校
2012. 2 . 8	大野小学校	2015. 5 .18	松前台小学校	2017. 9 .25	郷洲小学校
2012.10.14	郷洲小学校	2015. 6 . 8	守谷小学校	2018. 1 .29	松ヶ丘小学校
2012.11.26	高野小学校	2015.10.26	御所ヶ丘小学校	2018. 6 .25	守谷小学校

世界の料理教室

在留外国人の皆さんにご協力いただきながら開催している「世界の料理教室」。本場の味を再現できる、と参加者から好評です。これまでに、ドイツ料理、ベトナム料理など、世界各国の料理教室を開催してきました。写真はタイ料理教室の様子です。



MIFAを知ってもらうために

MIFAの活動を知ってもらうために、さまざまなイベントに参加しています。パネル展示による活動紹介やニューズレターやリーフレットを配布し会員募集も行っています。

守谷市商工まつり

守谷市商工まつりには、2010年から、ほぼ毎年出展。守谷市内外から多くの来場者があるこのまつりは、MIFAの活動を知ってもらうための貴重

な機会となっており、入会を呼び掛けています。ラオスシルクや民芸品を販売し、活動資金の調達も行っています。



2015(平成27) 9.26-27



2017(平成29) 9.30-10. 1



2018(平成30) 9.29-30



2010(平成22) 9.25-26

この年は、ユニセフへの寄付を行うためのバザーを実施。バザーの売上は、はしかワクチン1800回分以上となり、全額ユニセフへ寄付しました。



2013(平成25) 9.28-29

平成25年9月に姉妹都市グリーンリー市で洪水被害が発生。MIFAでは守谷市に協力して募金活動を行いました。市民や会員から集められた善意は被災者の救済に役立てられました。



北守谷地区夏祭り



この夏祭りへの参加は、海外派遣青少年と同世代の若者に派遣事業の様子や学んだことなどを伝える場となりました。ヨーヨーと飲み物の販売により、青年交流の活動資金調達の他、「スリランカの子どものための就学を支援する会」に寄付しました。

ようこそ守谷へ

守谷市が開催する「ようこそ守谷へ」は守谷へ転入された方々を歓迎するイベント。過去1年間に市外から転入して来た市民が招待されます。

MIFAはパネル展示を実施し、ブースに立ち寄った方々に活動紹介と会員募集をしています。



守谷市役所正面入り口前広場にて開催 2010.6.5



パネル展示により活動を紹介 2015(平成27) 6. 27



リニューアルされた常総運動公園体育館にて 2018(平成30) 6.30

さまざまなイベントに参加

- | | |
|----------------------|---------------------------------|
| 2008(平成20) 4.19 | JICA「科学技術週間」協力団体ブースに出展 |
| 2008(平成20) 8.23-24 | 北守谷地区夏祭りに出店 |
| 2008(平成20) 8.30 | きらめき守谷夢彩都フェスタ2008に出展 |
| 2010(平成22) 6.5 | ようこそ守谷へ2010へ参加 |
| 2010(平成22) 8.21-22 | 北守谷地区夏祭りに出店 |
| 2010(平成22) 9.25-26 | 第27回 守谷市商工まつり～きらめき守谷夢彩都フェスタ～に出展 |
| 2011(平成23) 9.24-25 | 第28回 守谷市商工まつり～きらめき守谷夢彩都フェスタ～に出展 |
| 2012(平成24) 8.18-19 | 北守谷地区夏祭りに出店 |
| 2012(平成24) 9.29-30 | 第29回 守谷市商工まつり～きらめき守谷夢彩都フェスタ～に出展 |
| 2015(平成27) 6.27 | ようこそ守谷へ2015へ参加 |
| 2015(平成27) 9.26-27 | 第32回 守谷市商工まつり～きらめき守谷夢彩都フェスタ～に出展 |
| 2016(平成28) 6.25 | ようこそ守谷へ2016へ参加 |
| 2016(平成28) 9.24-25 | 第33回守谷市商工まつり～きらめき守谷夢彩都フェスタ～に出展 |
| 2017(平成29) 9.30-10.1 | 第34回守谷市商工まつり～きらめき守谷夢彩都フェスタ～に出展 |
| 2018(平成30) 6.30 | ようこそ守谷へ2018へ参加 |
| 2018(平成30) 9.29-30 | 第35回守谷市商工まつり～きらめき守谷夢彩都フェスタ～に出展 |

総会後の企画

毎年、総会の後に企画されるさまざまな催し。講演会からコンサートまで、会員が楽しみにしている行事の一つです。



2009(平成21) 5.31

ミニコンサート
姉妹都市 ドイツとアメリカの歌に親しむ
演 奏: 沢崎 和子・沢崎 百萌



2014(平成26) 5.18

MIFA設立25周年記念
マインブルク市公式訪問 報告
報 告: マインブルク市訪問団員



2010(平成22) 5.30

ミニコンサート
ピアノの調べ パリに思いを馳せて
演 奏: 有富 久美子・有富 未来



2015(平成27) 5.31

ミニコンサート
初夏の訪れ 木漏れ日の中のコンサート
演 奏: DUO COSMOS



2011(平成23) 5.22

講演会 宇宙から見た守谷と東日本大震災
講 師: 理学博士
千葉大学協力研究委員 伊藤 明彦 氏



2016(平成28) 5.29

講演会
多文化共生のまちづくり～今、MIFAにできること～
講 師: MIFA会員・市民協働推進課係長
一般財団法人 自治体国際化協会認定
多文化共生マネージャー
大平 妙 氏



2012(平成24) 6. 3

講演会 サハラ砂漠に住んで
講 師: 一般社団法人
コモン・ニジェール代表理事 福田 英子 氏



2017(平成29) 5.21

ミニコンサート
緑の風と癒しの音楽 オカリーナ風の音



2013(平成25) 5.19

講演会 いかにして尖閣諸島を守るか
講 師: 元航空自衛隊一等空佐 毛利 毅仁 氏



2018(平成30) 5.20

講演会
元青年海外協力隊員からの報告: エチオピア
講 師: 元 高野小学校教諭 大里 康文 氏

近隣の国際交流協会との意見交換会

MIFAは地域の国際交流事業の発展のために、他市の国際交流協会と意見交換をしてきました。相互の訪問や研修機会の提供を随時実施しています。2011年には古河市国際交流協会との意見交換会を行い、2015年に阿見町国際交流協会が、2016年には神栖市

国際交流協会が来市し意見交換会を行いました。2018年には那珂市国際交流協会会長、那珂市役所職員、ボランティアのサポーター総勢16人を守谷市国際交流研修センターにお迎えしてお互いの活動実態を紹介し合い、意見交換を行いました。



古河市国際交流協会(KIFA)と意見交換会 2011. 9. 4



阿見町国際交流協会(AIEA)と意見交換会 2015. 6.19



神栖市国際交流協会(KIFA)と意見交換会 2016. 7.17



那珂市国際交流協会(IEAN)と意見交換会 2018. 6.29

各方面からの高い評価

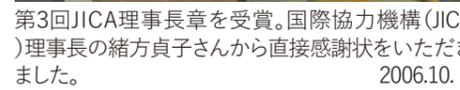
MIFAは設立から30年の間、地域の国際交流とその発展のために活動してきました。それらの功績が称えられ、各方面から高く評価していただいています。そのたびに、MIFAの活動を誇りに思うと同時に、更なる精進を心に刻み、身の引き締まる思いがします。



MIFAが茨城県国際化推進奨励賞を受賞 1992. 2. 4



吉田事務局長が茨城県国際化推進奨励賞を受賞 2015. 2. 5



第3回JICA理事長章を受賞。国際協力機構(JICA)理事長の緒方貞子さんから直接感謝状をいただきました。 2006.10. 2



櫻井由美副会長が茨城県国際化推進奨励賞を受賞 2017. 2. 7



MIFAが茨城県国際化推進奨励賞を受賞 2019. 2. 4

新聞記事

MIFAの活動は、地元紙をはじめ姉妹都市の現地の新聞にも掲載されてきました。その一部を紹介します。



MIFA設立30周年記念事業でのマインブルク市訪問の様子 ハラオ新聞 2018. 9.24付



「灼熱の雪合戦」インターナショナルの部が取り上げられました 産経新聞 2018. 8.26付



「世界を知るシリーズ」大使講演会が掲載されました 茨城新聞 2017.6.29付